

# 組み込み ソフト コスト削減支援

## SPL実践教育を開始

エクスマーシオン

組み込みソフト開発の教育・コンサルティングサービスを提供するエクスマーシオンは、組み込みソフト開発を低コスト化・効率化する「ソフトウェアアプロダクトライン（SPL）」の実践的教育サービスを開始した。これにより同社はソースコードの改善から開発効率の向上および品質改善、部品化開発まで、顧客の状態に合わせた組み込みソフト開発支援サービスを提供する体制が整ったことになる。不況でコスト削減要求が強まっている国内の製造業向けに、本格的な組み込みソフト開発のコスト削減策を提案していく。

エクスマーシオンは、顧客の状態に合わせて「ソースコード改善」「モデリング」「部品化再利用」の3種類の手段に基づき、コーディング規約やソースコード品質の可視化、UMLなどのモデル手法を使った開発技術のトレーニングサービスなどを提供している。

再利用の部分に相当するSPLトレーニングをサービスメニューに加え、混沌とした状態から成熟段階に至るまで、顧客のレベルに適したコスト削減策のサービスメニューを体系化した。

SPLは、メーカーが同系列製品の組み込みソフトを開発する際に、複数製品での再利用を前提と

してあらかじめソフトウェアコンポーネントを資産として用意、それらを使って組み込みソフト開発を効率化、低コスト化するという手法となる。

これまでリコーなどの先進的な社内事例が発表され、注目度こそ高いがまだ普及段階には至っていない。教育サービスも行われているが、実践的

トレーニングサービスを提供するのは、エクスマーシオンが初となる。SPLトレーニングサービスは、経営者や管理者などSPLを社内導入する意思決定者を対象とした「入門コース」と、現場向けの「実践コース」を提供する。

実践コースでは、レゴ・マインドストームを使って仮想電気自動車シリーズを車種展開していくという開発プロジェクトのケーススタディを通じてSPLの効果を体験し手法をマスターする。指導には、リコー在籍時に独フランフォーファー大で3年間SPL工学の共同研究を実施していた経験を持つ同社のコンサルタントがあたる。